

- ☆☆*****
- ・近畿農政局ホームページ <https://www.maff.go.jp/kinki/>
 - ・近畿農政局フォトレポート <http://www.maff.go.jp/kinki/photo/index.html>
 - ・広報紙新鮮mini情報 <http://www.maff.go.jp/kinki/pr/magazine/mini/index.html>
 - ・農林水産省フェイスブック <https://www.facebook.com/maffjapan>
 - ・農林水産省広報誌 a f f <https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

★ウクライナ情勢関係

◆農林水産省では、現下のウクライナ情勢によって影響を受ける可能性のある農林水産業や食品関連産業の皆さんに向けた相談窓口を設置し、燃油対策や資金繰り支援等の政府の対策を一元的に確認できるウェブサイトを開設しました。

詳細は、以下の農林水産省HPをご覧ください。
<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

◆目次◆

1. 農政の動き

- ◆「食生活・ライフスタイル調査～令和3年度～」の結果公表について
- ◆和食×人材育成トークショー”UMAMIのある話” 3月14日から配信開始！
- ◆初！和食文化継承のための小学生向け教材”わたしたちと「和食」”が完成
- ◆近畿農政局と龍谷大学が包括的連携協力に関する協定を締結（調印式を実施）
- ◆令和3年度産米の相対取引価格・数量について（令和4年2月）

2. お知らせ

<表彰>

- ◆「令和3年度飼料用米多収日本一」における近畿農政局長賞の決定について
- ◆「令和3年度近畿農政局輸出に取り組む優良事業者表彰」における近畿農政局長賞の受賞者について

3. フォトレポート

- ◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々などをホームページで写真により紹介しています

4. BUZZMAFF（ばずまふ）

- ◆職員自らが、農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

5. 統計情報

- ◆令和3年度 農林水産統計公表予定及び公表結果

1. 農政の動き

- ◆「食生活・ライフスタイル調査～令和3年度～」の結果公表について

農林水産省では、食と農のつながりの深化に着目した新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を実施しています。
この運動の一環として、消費者の日常の消費行動や、食や農に対する意識、普段の食事の実態等を把握するため、「食生活・ライフスタイル調査～令和3年度～」を実施し、結果を取りまとめましたので、公表します。

調査の目的及び背景、調査手法、調査結果など詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/220310.html>

- ◆和食×人材育成トークショー”UMAMIのある話” 3月14日から配信開始！

～お笑い芸人・銀シャリがMC、人材育成ひな壇バラエティー！～

“和食カタリスト”と名付けられた和食に魅せられた若き人々が、和食文化に対する想いや体験談などのエピソードを和食から生まれた「うま味」になぞらえ語り合う“UMAMIのある話”。和食カタリストたちの熱く楽しいエピソードと、お互いの想いを共有し合うトークショーを3月14日（月曜日）から配信します。UMAMIのある話を通じて、和食文化の魅力を再発見できるかも！？

トークショーは、以下のURLからご覧いただけます。（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/220314_12.html

- ◆初！和食文化継承のための小学生向け教材”わたしたちと「和食」”が完成

～和食とSDGsの繋がりを知った児童も、和食に興味津々～

農林水産省は、文部科学省とユネスコスクール事務局である公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターと連携し、初めて小学生を対象とした教材“わたしたちと「和食」”を制作し、その教材を用いたモデル授業をユネスコスクール加盟校で実施しました。

モデル授業に参加した児童の約8割が和食とSDGsの繋がりを知らなかったと回答するも、授業を機に児童の約9割が和食をもっと食べたいと回答するなど、児童が和食に興味を持つきっかけとなった本教材を多くの教育現場で活用してください。

教材”わたしたちと「和食」や、それを使用したモデル授業の紹介など詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/220314.html>

◆近畿農政局と龍谷大学が包括的連携協力に関する協定

このたび、近畿農政局と龍谷大学は、相互の人的・知的資源の交流によって緊密な協力関係を築き、相互の発展のため包括的に連携することに合意し、協定を締結することになりました。この協定は、食料の安定供給の確保、農業の持続的な発展及び農村の振興、さらには我が国の食と環境を支える農業・農村への国民の理解醸成に寄与することを目的としています。令和4年3月29日、近畿農政局において、調印式を行います。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kikaku/220322.html>

◆令和3年産米の相対取引価格・数量について（令和4年2月）

令和4年2月の令和3年産米の相対取引価格は、全銘柄平均価格で12,853円/玄米60kg（対前月比100%）、相対取引数量は、全銘柄合計で46万トン（対前月比196%）となっています。

産地銘柄別の相対取引価格・数量など詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/220318.html>

2. お知らせ

<表彰>

◆「令和3年度飼料用米多収日本一」における近畿農政局長賞の決定について

農林水産省及び一般社団法人日本飼料用米振興協会は、平成28年度から飼料用米多収日本一表彰事業を開催しています。

近畿農政局では、全国段階で表彰された経営体以外の管内の優れた経営体を表彰し、近畿地域の飼料用米の生産技術の向上を推進することとしています。

令和4年3月22日、令和3年度の近畿農政局長賞の受賞者を決定しましたのでお知らせします。

近畿農政局長賞の受賞者

(1) 単位収量の部

農事組合法人木喰の郷もろはた（京都府南丹市）

単位収量 699kg/10a

(2) 地域の平均単収からの増収の部

汐谷保（しおたに たもつ）氏（兵庫県神戸市）

地域平均単収差 150kg/10a

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/sinko/220322.html>

全国審査結果についてはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kokumotu/220228.html>

◆「令和3年度近畿農政局輸出に取り組む優良事業者表彰」における近畿農政局長賞の受賞者について

我が国の農林水産物・食品輸出の優良な取組を広く紹介して輸出促進を図るため、農林水産省では、平成28年度から輸出に取り組む優良事業者表彰を実施しています。

近畿農政局においても、農林水産物・食品の輸出に取り組む事業者の輸出意欲を喚起し、近畿管内における輸出を促進するため、平成30年度から優良事業者表彰を実施しています。

今般、令和3年度の近畿農政局長賞の受賞者を決定し、表彰しました。

☆配信停止、メールアドレス等変更には
御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。
パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をお願いします。
☆配信中止・配信メールアドレスの変更・バックナンバーの閲覧は、
⇒ <http://www.maff.go.jp/kinki/pr/mmg/index.html>
☆近畿アグリレターに関するご意見・ご要望は、
⇒ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/1209.html>
までお願いします。

編集・発行：近畿農政局 企画調整室
〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
電話：075-451-9037（直通） FAX：075-414-9060

